

オーストリアの気候変動防止・環境・エネルギー・モビリティ・イノベーション・技術省のトーマス・アオグスティン氏からいただいた返答（2022年2月17日付）

## EUタクソノミー - 日本の元首相による声明

親愛なるグローガー様

2022年2月4日付の貴女のメールに関して、気候変動防止・環境・エネルギー・モビリティ・イノベーション・技術省の「核事項の総合調整部 (VI/8部)」の責任者である私が、ご返答を差し上げることになりました。

まず最初に、5人の元首相による声明についての情報をくださいましたこと、さらに貴女がメールの中で私たちへの支持を表現されたことに対して、心から感謝申し上げます。

今、欧州委員会によって承認された補完委任法令【\*注】は、明らかに、間違った方向へと向かっています。ゲヴェッスラー (Gewessler) 大臣 (気候変動防止・環境・エネルギー・モビリティ・イノベーション・技術省) が委託した、独立した専門家による学術刊行物をベースにした研究調査は、原子力が持続性の基準に適合しないことを、きわめて明確に指摘しています。

またゲヴェッスラー大臣は、すでに、ある高名で国際的な法律事務所、法的枠組みの評価、および、さらにどのような取り組み方法が可能であるかを調査検討するように依頼しています。そこで (法律事務所の調査で) はっきりと確認されたことは、法的理由に基づけば、原子力を持続可能な技術として、または、移行段階の技術として分類することはできないということです。

したがって私たちは、これからも、EU加盟国の中の - オーストリアと同様に、原子力がグリーン・テクノロジーとして承認されることに同意しない国 - とのアライアンスを求めていきます。なぜなら、数十年ものリードタイム (企画から完成/稼働開始するまでの期間) があって、数十年間のロックイン効果へと導き、将来の幾世代にもわたって人類に過大な負担をもたらすような技術が、移行段階の解決策として認められるというのは、まったく不合理であるからです。

いかなる形でも、ご支持をいただくことは、私たちにとって重要なことです。私たちは、連帯することによって始めて、原子力の推進、そして、原子力を "グリーンで持続可能、気候変動防止のために不可欠なエネルギー" として描写しようとする彼らの試みに、有効に立ち向かうことができます。

最後に、貴女が関心を寄せられ、ご支援して下さることに、もう一度あらためて、お礼を申し上げます。

成功を祈って

トーマス・アオグスティーン (Thomas Augustin)

[オーストリアの気候変動防止・環境・エネルギー・モビリティ・イノベーション・技術省 - 核事項の総合調整部・部長]

\* \* \* \* \*

【\*注】欧州委員会によって承認された補完委任法令については下記の日本原子力産業協会のリンクをご参照ください: [https://www.jaif.or.jp/information/kikaku\\_220204/](https://www.jaif.or.jp/information/kikaku_220204/)

〈独語から翻訳: グローガー理恵〉